

ご意見	回答
4つの候補地の選定について経緯が明確ではありません。18年度から4年もかけて検討されてきた候補地がすべて白紙になり、なぜコンセプトが変更され唐突に新候補地が選定されたか。合併特例債に間に合わせるため早期着工を可能にする要件を選択したとは思えません。	新火葬場の建設については施設の老朽化と住民要望により、総合計画（5次、6次）に掲げ、10数年前から検討を進めてきています。第1次の候補地選定では、市内18ヶ所の市有地と提案のあった民有地を調査しており、今回の追加調査を含め全体で24箇所の実地調査をしています。その他、机上での検討や寄せられた候補地も含め、多くの箇所を検討した結果として、現在の4候補地を最終的に提示したものです。また、多治見市の長期的な財政見通しは極めて厳しく、市の進めるべき事業の先送りや縮小が検討されている中で、合併特例債を活用する意義は大きいと考えています
火葬場は何処でも嫌われる施設です。自分に利益がない限り賛成する人はいません。従って、まず既存施設場所かその近隣を考えることが前提だと思えます。それが絶対不可能となれば市民が納得する候補地を選び、それぞれの候補地について住民と十分話し合いながら絞り込んでいくのが常道です。拙速にことを運ぶことは許されません。市行政は、パブリックコメント手続きを重視し、生活環境を良くすることと共に、市民の権利を守ることでないですか。	現在の火葬場は、生活道路を経由しなければ施設に入ることができません。そのため、前回の選定時に新たな進入路について検討しましたが、費用と年月という点で困難と判断し既存施設場所での建替えを断念しました。現在選定中の4つの候補地については、第2回経過報告会を開催する等、住民の皆さんとの話し合いを今後も十分行なっていきたいと考えています。
火葬場施設は、付近住民の生活環境に長く影響を与えます。付近の住宅価値を低下させますし、近くにセレモニー会館が建つとなれば交通量も増えるでしょう。松坂町3丁目候補地の周辺は団地が多く、住宅密集地といえます。付近住民にとって、ここは生活道路です。毎日火葬場と書かれた案内標識と看板と、その建物を横目で見て通らねばならない。「人間いつかは死ぬ」と理解していても、その度に、現に人が火葬に付されていることを考えることは精神的ストレスです。また、松坂台団地は、きわめて子どもが多く、ここの子どもたちの心理的不安を考慮してほしいと思います。小学生の子どもたちにとっては、多分に「からかい」「いじめ」の対象となるからです。この計画は、当初から新設火葬場の必要性が強調され、その諸課題のみが検討対象でした。建設場所付近住民への視点が欠けています。	現代の火葬場は、煙突も無く煙や臭気はほとんどありませんし、文化施設的外観と共に周辺環境に十分配慮されているのが一般的です。ご懸念についてはご意見として承ります。
現在の火葬場は老朽化が進んでいるとのことで、少しでも早く新火葬場の地域選定をしなければならないと思います。松坂町の候補地は交通の便もよく山に囲まれ最高の場所だと思いますので検討してください。合併特例債の対象の有るうちをお願いします。	ご意見として承ります。
合併債目当ての突如として松坂町内への火葬場建設は、地元住民のほとんどが知らない状態での多治見市の強行的な市制運営の現われであり、火葬場建設の強行に断固反対です。松坂町内道路は、道幅も狭隘で歩道も無い所がほとんどであり、道路等の環境整備が急務であると思います。	ご意見として承ります。
私は多治見市が建設予定の新火葬場について、主に道路事情における理由より松坂町3丁目の候補地への建設に反対するものであります。松坂町3丁目に火葬場を建設された場合、多治見市街方面よりの進入路は主に以下の4つとなると思います。 1) 国道248号線西高前交差点を右折し、多治見白川線を進んで松坂町3丁目交差点を右折。 2) 国道248号線幸町3丁目交差点を右折しつきあたりT字路を左折し市道に進入、根本駅方面に右折し高根町4丁目交差点もしくは松坂町1丁目交差点を左折、多治見白川線を進んで松坂町3丁目交差点を右折。 3) 国道248号線根本町7丁目付近のインターチェンジを降りてバロー方面へ右折、高根町4丁目交差点もしくは松坂町1丁目交差点を左折、多治見白川線を進んで松坂町3丁目交差点を右折。 4) 明和町1丁目交差点よりもしくは名鉄緑台經由で可児市桜ヶ丘方面へ行き、大森新田交差点を左折し多治見白川線へ。 1)については施設へ向かう際はあまり問題ないものの、施設を退出する車で西高前交差点の渋滞に拍車をかける結果となる可能性が大ではないかと思えます（現在も時間帯によっては旧ミツボシホームセンター付近まで渋滞が延びることもあります）。1)2)3)に共通することですが、松坂町1丁目交差点に右折専用車線がなく、また交差する道路については交通量に比して車線が狭くなっており、ここにおいても渋滞の原因となる可能性があると思います。2)3)において松坂町1丁目交差点へ向かう場合は太多線の乗降時間帯と重なった場合の渋滞が考えられますし、また2)においては狭隘部分もあります。4)については渋滞原因となる箇所は無いと思われるものの、市外（可児市）を経由したかなりの迂回となるためこちらを選択する車はあまりないのではないかと思います。 以上のことから、現在の道路状況においては松坂町3丁目の候補地は火葬場の建設場所としては不適切ではないかと思われます。それでも建設されるのであれば、例えば松坂町3丁目交差点より国道248号バイパスの北丘町5丁目交差点付近を結ぶ道路の建設が必要なのではないでしょうか。	火葬の時間帯は朝夕のラッシュ時間帯と重ならないと考えますし、それほど多くの車が火葬場へ向かうとは考えていませんが、候補地として決定した場合は、周辺の交差点の渋滞状況等について確認し、対応を検討します。
ため池をうめたててしまうと、さらに災害がますます感じています。山林を切り開くのも水災害をよりひどくするのではないかと思います。	施設内に調整池を兼ねた池を作る等の対応を検討したいと考えます

大藪地区に火葬場建設について、場所的には非常に理想的な所だと思います。その理由は人家が近くに非常に少ない、市の中心部から離れていてしかも他市との境界に近くバイパス248号があり県道善師野線があるので専用道が短く用地買収の費用嵩まない。本体の建設用地は古くからの農業ため池で近頃では奥に防災溜池が造られたのでほとんど機能を必要としていない。今年は防災溜池が工事中で水をためたが堤防が古くて滴水にならない。水压に負けて水が堤防を潜るため。この候補地は所有者が溜池のため県の管理下にある。上記の関係で転用が可能とすれば用地買収に時間がかからない。 水利関係については、新しい防災溜池が出来たときに、林道のコンクリート橋の南西奥で古い迫間洞池に流れ込んでいた川を堰き止め新しい防災溜池に流れ込むように山を掘り割って水路が建設されました。従って現在では可児市の山に降った一部の水が流れ込むだけです。	ご意見として承ります。
諸条件から見つめると火葬はこの地（大藪地区溜池候補地）が一番適当場所と考えます。 但しこの池が建設されたる前は、大藪村下切村は現在の深山の森がほとんど樹がなくて裸山のため、ちょっと雨が降れば山崩れがして農地に土砂が流れこみ土地は荒れ、乞食同然の生活を大雨の年はしてきたようです。 そこで明治の新生内閣は、県、国、郡、村を挙げてこのため池を造ったとされ、成功を祝って記録の明細経費の分担などが事細かに記された大きな石碑が昔の姫路村の三宮様の隣に建っていますからこの記事参考にこの地の歴史を残す石碑を建てて下さい。	ご意見として承ります。